

事前に出された意見と市の考え方

項目	委員	意見（そう考える理由等）①
「(仮称) 富津市子ども計画」の策定方針について	齋藤委員	<p>資料よりだいたいの状況把握はできました。虐待は新規で昨年度 45 件で、この数をみて多い・少ないの感じ方は個人差があると思うのですが、私は多いなと感じました。</p> <p>貧困、虐待、ヤングケアラーなど困っている子供達がいるならば、早急に安全・安心した生活がおくれるよう関わっていかねばならないと思いました。市として具体的な課題や対応や計画がありましたら知りたいです。</p> <p>富津市の子供達が安全、安心、幸せに暮らせるよう、少数でも困っている子供がいるならば手を差し伸べてあげたいなと感じました。</p>
		市の考え①
		<p>本市では、DV、児童虐待、高齢者虐待、障がい者虐待への施策の指針となる「富津市DV・虐待防止計画」を策定し、「いかなる暴力も許さない社会の実現」という基本理念のもと、相談窓口の周知や、虐待の早期発見のための体制整備、専門職による子どもへのカウンセリング、保護者へフォロー等に取り組んでおります。</p> <p>主な取り組みとして、来庁や電話等で相談を受け付ける「子育ての話何でも聴きます窓口」や、市内の小中学校や保育所等を訪問してニーズの掘り起こしを行う「日中対応機関巡回訪問」、虐待を受けている子どもたちへの適切な支援のため、関係機関との情報交換を行う「要保護児童地域対策協議会」を実施しております。</p> <p>今回の子どもの生活状況調査にて、悩み事や困ったことを誰にも相談できない・相談したくないとの</p>

		<p>回答が一定数あったこと等は課題と捉えています。 子どもの権利を守るため、関係機関と共に、積極的に子どもたちや保護者の声を聴き、寄り添っていき たいと考えております。</p>
--	--	---